

やまりん新聞



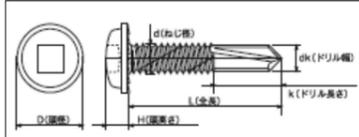
鉄板板厚9mmまでOKのドリルねじ

鉄板板厚9.0mmまで!下穴不要のエアソルトロングIXのご紹介です。

先端にドリルのついたドリルねじは下穴不要で鉄板に締結することができますねじです。

従来、板の厚みで締結できなかった箇所にも対応可能なドリル部の長いねじです。

適応板厚は2.3~9.0mmとなっており、H鋼や厚鉄板にも使用可能です。



品番	L	D	H	d	k	dk
APW5019LS	19	10.8	4	4.8	11.0	4.1
APW5025LS	25	10.8	4	4.8	11.0	4.1
APW5035LS	35	10.8	4	4.8	11.0	4.1
APW5050LS	50	10.8	4	4.8	11.0	4.1
APW5070LS	70	10.8	4	4.8	11.0	4.1

特徴は、頭部穴が四角(No.3四角ビット)であること、頭部裏側には接地面に食い込むギザギザがあり取付作業時の頭飛び防止に効果を発揮します。

材質はSUS410(パシパト処理)です。

現在、店頭にて5.0×25、5.0×35の2種類を在庫として置いております。パックには四角ビットが1本セットされております。価格はどちらも1800円(税抜)です。

お気軽にお問い合わせください。

品番	サイズ	入数
APW5019LS	5.0×19	80本
APW5025LS	5.0×25	70本
APW5035LS	5.0×35	60本
APW5050LS	5.0×50	45本
APW5070LS	5.0×70	35本

弊社店頭でひそかによく売れている商品をご紹介します。すべり現象を防ぐ摩擦増強液で、ネジ頭のネジ穴(リセス)がなめて回しにくくなった時に手軽に使える液状の便利品です。

メーカー…Anex(兼古製作所)

商品名…ネジすべり止め液No.40(10g入り)

使用できるネジ…あらゆる種類のネジ

ねじすべり止め液

特徴は、頭部穴が四角(No.3四角ビット)であること、頭部裏側には接地面に食い込むギザギザがあり取付作業時の頭飛び防止に効果を発揮します。

材質はSUS410(パシパト処理)です。

現在、店頭にて5.0×25、5.0×35の2種類を在庫として置いております。パックには四角ビットが1本セットされております。価格はどちらも1800円(税抜)です。

お気軽にお問い合わせください。

(一部+No.0、No.00などの精密小ネジは使用時、ネジ穴の底に液中の粒子がたまってドライバーの刃先が浮き、使用出来ない事があります。)

店頭価格…350円(税抜)

使用方法…ドライバーの先端やネジ穴に本品を1~2滴つけドライバーを垂直にあてて、押しつけながら回します。

特長

- ドライバーとネジ穴との摩擦を高め、ネジ穴のナメ防止になります。
- 中性なので拭き取るだけでサビの心配はありません。

一度お試しください。



ドライバーとネジとの摩擦を高め、ネジすべり防止になります。



ある自動車メーカーの業績報告会で「多角形の対角線の本数」が話題になりました。

多角形あれこれ

ある自動車メーカーの業績報告会で「多角形の対角線の本数」が話題になりました。

多角形の頂点が社内の各部署に相当し、対角線が各部署間のコミュニケーション力や調整力にたとえられたと記憶しています。

また、多角形(n角形)の対角線の本数は、「 $n \times (n-3) \div 2$ 」で決まり、例えば10角形なら $10 \times 7 \div 2 = 35$ 本になり、部署数が増えるほど、部署間の調整が必要となります。

さて、ネジの業界で最も多用される多角形は何と言っても「六角形」です。

「六角ボルト」「六角ナット」「六角穴付きボルト」「六角レンチ」など六角形に関連する名称がすぐに頭に浮かんできます。

そこで、JIS規格の名称に「六角」の文字を含む規格がどれくらいあるかを、JISのDBで検索してみました。結果、24件の規格がヒットしました。

JISは常に改定されるので、関係ある規格は時折ウォッチしておく必要性から、ヒットした24件の中で、比較的最近(2014年)に改定された規格JIS B 1181「六角ナット」の規格を見てみました。

(左下へ)

(右上から)現状、多くの現場で呼称されている図1のような、「1種」「2種」「3種」「4種」という呼び名はISOによらない六角ナットとしてJIS B 1181付属書JAに移されています(これらを付属書品と呼ぶ)。

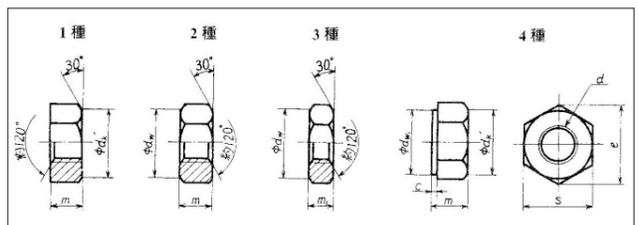


図1 六角ナットJIS B 1181 付属書JA抜粋

一方、JIS B 1181の最初に掲載されているのは表1のように「スタイル-1」「スタイル-2」というものです(これらをJIS本体規格品と呼ぶ)。現場の感覚としては「スタイル-1」と言われても、どんな物かまだピンと来ないのが実感ではないでしょうか。表1のJIS本体規格品に移行するには、まだまだ時間が必要だと感じます。

「ねじ商工連盟」のHPによると、JIS B 1180六角ボルトとJIS B 1181六角ナットのJIS本体規格品の供給体制を2020年までに整える動きがあると、紹介されています。

表1 六角ナットJIS B 1181抜粋

種類		ねじ呼び径Dの範囲	対応国際規格(参考)
名称	ねじのピッチ		
六角ナット-スタイル1	並目ねじ	A	1.6~16
		B	18~64
六角ナット-スタイル2	細目ねじ	A	8~16
		B	18~64
六角ナット-両面取り	並目ねじ	A	5~16
		B	20~36
六角低ナット-両面取り	並目ねじ	A	8~16
		B	18~36
六角ナット-両面取りなし	並目ねじ	A	1.6~16
		B	18~64
六角ナット-両面取りなし	細目ねじ	A	8~16
		B	18~64
六角ナット-両面取りなし	並目ねじ	B	1.6~10

東京オリンピックが開催される頃、JIS本体規格品への切り替えがどれくらい進んでいるのでしょうか。

ねじの雑学

本誌記事で四角穴のドリルねじをご紹介しましたが、一般にはドリルねじは十字穴が多いのですが、四角穴のドリルねじも存在します。ドリルねじだけでなく、タッピンねじ等にも四角穴をもつねじが市販されています。

四角穴の特長ですが、十字穴の場合には、締付け時にねじ穴(リセス)から工具がはずれてしまうカムアウトという現象が起こります。ところが、四角穴を使用すると、工具がリセスに確実にハマるため、ねじを押し付力をそれほどかけなくてもカムアウトが起きません。さらに予めねじを四角ビットに差し込めるので締結時に作業性がよいなどの利点があります。

一方、短所は十字穴のねじと混在してしまったり、四角穴のねじを外したいときに、四角ビッ

トがない等、かえって作業性が悪くなることが考えられ、広く一般に普及しているとは言えない状況だと思えます。

写真1 四角穴付きタッピンねじ(ミヤガワ製)

アウトを起こさず確実に締め付けられるので、住宅用新素材CLT(Cross Laminated Timber)に使用する写真1のようなタッピンねじに採用されるなど、今後の普及が期待されるのではないのでしょうか。

さらに、四角穴の短所を改善するもので、写真2のようなミヤガワ製の「コードレックス」という独自のリセスが考案されています。これは締め付けるときは四角ビットで行い、アフターケアは十字のドライバを使用することができるリセスです。

写真2 コードレックス(ミヤガワ製)

※ 本文中の写真、文章一部は株式会社ミヤガワ様のサイトから引用致しました。



ご意見、ご不明点等ございましたら下記までお願いいたします。